

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第2回桶川市いじめ対策委員会
開催日時	令和元年12月13日(金) (開会)午後1時30分・(閉会)午後4時00分
開催場所	桶川市立桶川西中学校
出席委員	5名
欠席委員	なし
事務局職員	2名
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 学校支援課長あいさつ</li> <li>3 学校長あいさつ</li> <li>4 学校概要説明</li> <li>5 生徒指導委員会視察</li> <li>6 協議等             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒指導委員会について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>7 閉会</li> </ol>
配付資料	次第
議事の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 学校支援課長あいさつ</li> <li>3 学校長あいさつ</li> <li>4 学校概要説明</li> <li>5 生徒指導委員会視察</li> </ol>

## 6 協議

### (1) 生徒指導委員会について

委員長：生徒指導委員会は、どこの中学校においても同様の構成で行っている。  
ご質問・ご意見等があればお願いしたい。

委員：とてもきめ細やかな対応に驚きである。家庭内の問題もからんでいる事案もあった。先生方が、個々の生徒と、学級や学年など全体に対してどのように対応するかがスピーディーに示されていた。

日常的に起こる生徒指導上の問題についても観察の目が行き届いていた。目には見えないインターネットの世界や、下校後などの学校以外での時間、家庭ではどうなっているか疑問に感じた。

委員長：現状は、どうなっているのか。

事務局：インターネットについては、民間にネットパトロールを委託しているが、LINE など、内容が公になっていない場面では、生徒から教員に報告があって、初めて問題が発生していることがわかる場合もある。

時間外や、家庭についても、生徒からの報告、三者面談等でわかる場合がある。

委員長：県より、ネットトラブル等に対する通知はあるのか。

事務局：県からは「ネットトラブル注意報」という児童生徒、保護者向けのリーフレットが配付されており、その他にも、いじめなど様々な相談窓口の情報提供等も行っている。

委員：課題を抱え、普段目をかけてもらっている生徒がいるが、それ以外の生徒には、目をかけてもらっている生徒への羨望の目もあるのではないか。そういった生徒達にも目が配られていると良い。

中学生のこの時期は、悪いことをするとカッコいいという時期。目立ちたいが、方法がわからないという生徒もいる。部活動や勉強以外でも、個々の生徒に光が当たるようにしていくとよい。

委員：さまざまな生徒の情報共有はどのように行っているのか。

事務局：放課後に、先生方でその日あった出来事など情報共有を日常的に行っている。また、学年会議という学年ごとの職員の会議では、各担任などからさまざまな生徒についての情報があげられ、学年職員全員で見守るようにしている。

いじめなど生徒指導上の問題だけでなく、コミュニケーションが苦手な生徒への配慮なども情報共有し対応している。

また、今回は、生徒指導委員会を視察したが、教育相談部会というものもあり、その中では、不登校の生徒などへの対応も話し合われている。

委員：先生方がとても協力している。課題を継続して抱えている生徒を、先生方は認識しているか。文化等多様性の社会の中で、多様性をどのように捉えていくかで対応が変わってくるのではないか。先生方は、常に、問題の芽をつむような思いで行っているのか。

事務局：生徒指導上の問題は日々発生している。暴力行為やいじめ問題、生徒同士のトラブル等あるが、早期発見・早期対応を心掛けている。

委員：生徒の成長を促すような指導もしているか。

事務局：たとえば、行事の中で、さまざまな生徒を活躍させようと、活躍の場面を作り、生徒が持っている力を見出していくこともある。そのようにして学年を成長させていこうとしている。

委員：昔は、いわゆる不良グループなどが各学校にいたが、今はどうなのか。

委員長：本校に関するインターネット上のコメントなどを見てみると、落ち着いている様子がうかがえる。

委員：これまでの活動の成果であると考えられる。

	<p>委員長：外国籍の生徒など、多様性に対する対応は、各校の判断だけでなく教育委員会の判断も必要であると思われる。髪の毛の色、ピアスのことなど海外での文化と日本の文化で異なっている面もある。</p> <p>ただ、学校では、髪の毛を染めている場合には、元の色に染め直していると思われる。</p> <p>委員：LGBT の問題も今後はあがってくると思われる。今回の会議では、性的な面での問題があがっていなかった。</p> <p>委員：先生が問題を発見することから、生徒指導が始まったものもある。これは日常的に、先生方が見回っているということか。</p> <p>事務局：学年職員が、授業の後や、休み時間などに、教室や廊下を見回りながら見守っている。</p> <p>委員：昔は、恐喝まがいのことも学校で起こったりしていたが、この学校ではないということであり、先生方がよく見守っているのがわかる。</p> <p>委員長：先生方も休み時間など、気になる生徒に声かけを行っている。また、休み時間になると職員室に来る生徒もいる。</p> <p>委員：学習支援室というものがあるが、これは、いじめが原因でこの支援室を利用しているのか、それとも本人の抱える課題によるものか。</p> <p>事務局：集団の中に入ることに不安を抱える生徒など、それぞれが抱える課題により、学習支援室を利用している。また、学習面での不安も大きな要因である。</p> <p>委員：いじめ重大事態に関わることは、本校ではないということか。いじめによる不登校はないということか。</p> <p>事務局：現在はない。いじめ見逃し0となるよう対応をしている。</p>
--	---

